

2026年6月1日

「2025 明治安田しあわせフォトコン」入賞作品決定！

～累計応募数は193万点を突破～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、2025年8月～2026年1月に募集した「2025 明治安田しあわせフォトコン」の入賞作品を決定しました。



明治安田 しあわせフォトコン

1. 累計応募数は193万点を突破

1999年の第1回開催以来、27回目を迎える当コンテストは、「あなたがいる しあわせ。」をテーマに、家族や友人、恋人等との身近にある“しあわせな瞬間（とき）”を撮影した写真を募集する国内最大級のフォトコンテストです。今回は、17万1,039点のご応募をいただき、累計応募数が193万点を超えました。

また、「超えよう。こどもみらい」賞には5,938点、MYリンクコーディネーター等（営業職員）を通じては52,266点と、多くの方からご応募をいただきました。

2. 入賞作品229点を決定！ グランプリ作品は「後部座席のしあわせ」

写真家の織作 峰子氏による厳正な審査の結果、グランプリ作品「後部座席のしあわせ」（安藤 リサ さま・和歌山県）をはじめとする、入賞作品229点を決定しました。そのうち118点は、全国各地の支社が選定する「支社特別賞」となります。入賞作品や表彰項目の詳細は、公式ホームページよりご覧ください。

3. 企業イメージCM最新作を制作中

小田和正さんの歌に乗せ、本コンテスト作品をスライドショー形式でつづっていく、企業イメージCMの最新作を2026年夏ごろに放映予定です。小田和正さんの優しく透き通った歌声が、写真の魅力をさらに際立たせるCM作品にご期待ください。

◆フォトコンテスト公式ホームページ

<https://www.my-happiness.com>

◆企業イメージCM／明治安田公式ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/cm/>

以上

【ご照会先】

広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。

みんなの
健活
プロジェクト



【「2025 明治安田しあわせフォトコン」の概要】

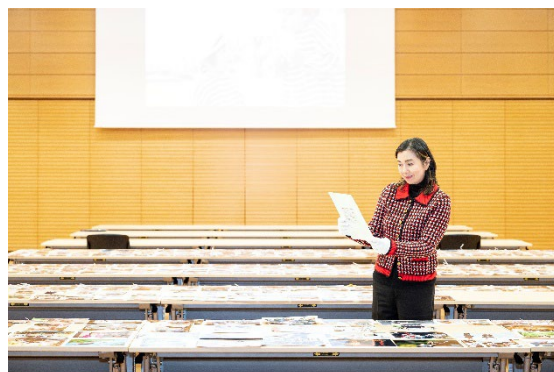
<テーマ>

「あなたがいる しあわせ。」

<応募期間>

2025年8月1日(金)

～2026年1月31日(土)



織作氏が審査をする風景

<応募数>

総応募数：171,039点

内訳 ■プリント応募：807点

(うちMYリンクコーディネーター等を通じた応募129点)

■パソコンもしくはスマートフォン応募：166,870点

(うちMYリンクコーディネーター等を通じた応募52,137点)

■Instagram 応募：3,362点

<審査員プロフィール>

織作 峰子（おりさく みねこ）氏：写真家。石川県出身。

1982年より写真家・大竹省二氏に師事。1987年独立。世界各国の風景や人物を、独自の視点でとらえ続け、国内外で写真展を多数実施。2018年・2021年・2024年には銀座・和光ホール（現：セイコーハウスホール）にて展覧会を開催。2026年4月11日～7月5日入江泰吉記念奈良市写真美術館にて写真展「光韻 | まほらま」を開催。海外政府観光局から依頼された撮影のほか、テレビ・雑誌、講演でも幅広く活躍中。（公社）日本広告写真家協会業務執行常務理事。大阪芸術大学教授。

<総評>

応募総数の最高記録が更新され、

17万点を超える「あなたがいる しあわせ。」が集まりました。

ここ数年、応募が増え続けて、もうすぐ20万点を超える勢いです。こんなにたくさんの方々に応募していただけるコンテストに成長したことに、心より感謝を申し上げます。

今回も身近なしあわせを捉えた素敵な作品が多く寄せられました。10代の上位入賞もみられ、応募者層の広がりや、技量の向上を実感しています。

一方で、このコンテストだからこそ出会える、新しい視点や表現にも今後さらに期待しています。みなさんそれぞれが感じた「しあわせな瞬間」を、自由な感性で切り取っていただけたらうれしく思います。

このコンテストの最終審査は、デジタルで応募された写真も出力してプリント応募された作品と並べて見極めていきます。プリントの仕上がりによって、被写体の感情や空気感、作品の印象がより豊かに伝わることもあります。ぜひ、ご自身のイメージする表現にもこだわりながら、作品づくりを楽しんでいただければと思います。

<グランプリ作品のご紹介>



「後部座席のしあわせ」 安藤 リサ さま（岐阜県各務原市）

安心できる空間でぐっすり眠るお兄さんと、起こさないでねとおちゃめなポーズの妹さんの対比がいいですね。自然な瞬間を捉え、家族の仲の良さが伝わってくる作品です。車窓からの柔らかい光がふたりを包み、写真の雰囲気にも優しさを増しています。

（講評：織作 峰子氏）